

授業科目

緩和ケア実習

担当教員名 手島 美子、北島 昌樹、目黒 優子、金子 佳世 他	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	

授業の概要

緩和ケアを必要とする対象をトータルペインの視点から理解し、実践されている緩和ケアについて理解する。トータルペインを緩和するために用いる代表的な薬物療法およびコミュニケーション技術等を中心にしたケアを学び、症状緩和が対象の安楽な日常生活ケアにどのように生かされているかについて理解する。終末期にある対象の家族に行われているグリーフケアについて理解する。緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて理解する。

授業の目的

緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているケアについて学び、終末期ケアに携わる看護師の役割と自己の看護観について内省することを目的とする。

学習目標

1. 緩和ケア病棟の特徴について説明できる。
2. 緩和ケアを必要とする対象の安楽な日常生活の支援方法について説明できる。
3. 緩和ケアを必要とする対象の精神的・社会的・霊的な状態について理解できる。
4. 緩和ケアを必要とする家族のグリーフケアについて説明できる。
5. 緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて説明できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	担当教員
実習オリエンテーション	手島 美子 他
病棟実習2日間、学内学習3日間	手島 美子 他
緩和ケア病棟の特徴について学ぶ。	手島 美子 他
緩和ケアを必要とする対象の安楽な日常生活のケア方法について学ぶ。	手島 美子 他
緩和ケアを必要とする対象の精神的・社会的・霊的な状態について学ぶ。	手島 美子 他
緩和ケアを必要とする家族のグリーフケアについて学ぶ。	手島 美子 他
緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて学ぶ。	手島 美子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	適宜、提示する。					

評価方法

実習の評価は、評価表に基づいて学習の過程と成果を鑑みて評価する。

履修上の留意点

事前学習および事例演習等の学内学習を十分に行った上で実習に取り組む。

オフィスアワー・連絡先

メールアドレス：tejima@nuhw.ac.jp 研究室：K509 金曜日：13～18時